

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	学校法人中央工学校 中央工学校OSAKA	分野区分	工業
課程名	工業専門課程	修業年限	2年
学科名	建築学科	学科定員数	80名
学科開設年月日	昭和63年4月1日	学科実員数	45名
コース設置年月日	平成18年4月1日	推奨年度	平成29年度
当該学科の教育目標	実践的技術に必要とされる、実務能力を有する技術者の養成を目標に、建築業界において必要な基本的な専門知識と技術を実践本位のカリキュラムにおいて習得させる。		
就職を目指す職業	建築設計士・施工管理技術者・現場監督		
入学案内への記載	過去の就職実績、学生の状況、インターンシップについて等		
当該学科に対する学生のニーズ		当該学科に対する企業・業界のニーズ	
建築業界全般に直結した充実したカリキュラム		実社会で役に立つ最先端の教育と高い専門性	

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成28年度実施内容

提携企業名 (業界名)	ARCHIXXX 眞野サトル建築デザイン室(設計)、大晃設備 株式会社(設備) 他計 11社		
コースの目標	実践的技術に必要とされる、実務能力を有する技術者の養成を目標に、基本的な専門知識と技術を実践本意のカリキュラムにおいて習得させる。 学生の就業する業界における動向や、新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能などを分析した上で、企業などの要請を十分に生かし、教育課程編成委員会を設け、教育に反映させる。		
企業等との提携内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	・学校内における事前学習・事前面談の実施。 ・クラス担任によるカウンセリング、プログラム実施期間中の企業巡回訪問、企業への各種連絡調整の実施。 ・インターンシップ先企業による「実習担当者」、「指導責任者」の配置。		
コース内容 ※企業現場実習など	建築の基礎となる設計製図を徹底的に修得し、複数の建築 CAD ソフトを完全にマスターする。また、設計・施工・構造・設備までを学び、建築のスペシャリストをめざし、建築業界で働くための実践的なノウハウが習得できる。また、企業研修で優秀な評価を得た学生は、該当提携企業への優先就職枠が与えられるなどメリットも大きい。		
提携契約期間	(平成29年7月14日 ~ 平成29年7月27日)		
提携教育期間	2(年・月・週間)× 1回 (72時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載		
コース受講生の募集・選定方法	新年度初めに、研修内容・勤務場所・待遇面を説明。研修希望者と担任・進路指導担当者とで面談を経て企業に申込み。最後は企業による選考(面接)により決定。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	企業評価の有無
有・無	72時間 / 2626時間	有・無	有・無
評価方法	学校	提携企業の評価を踏まえ、学校の授業科目としての成績評価及び履修認定を実施。	
	企業	提携企業による5段階評価の研修評価を実施。	

学生への支援・配慮事項	インターンシップの実習に向けて、意識向上を目的とした事前講義の実施。 実習後の下級生に対して発表会を実施。
-------------	--

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)
・授業や個別相談をとおして進路指導を充実させる。 ・職業観の育成や就職のミスマッチを防ぐため、年次にインターンシップを実施している。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 27 年度	平成 28 年度(見込)
a. 学科修了者数	11名	12名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	11名	12名
c. 「b」のうち、就職希望者数	6名	3名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	5名	2名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	1名	1名
f. 「b」のうち、進学者数	5名	9名
イ. 主な就職先、業界等	株式会社 松本組(建設)、大晃設備 株式会社・知究設計 株式会社(設備) 他 ※進学者は関係分野の学科に進学(本校の研究科 他)	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 8名(中退率 24.2%)
b. 平成27年4月1日在学者 35名(平成27年4月入学者を含む)
c. 平成28年3月31日在学者 25名(平成28年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
進路変更、学習意欲低下
ウ. 中退防止のための取組
担任面談による指導、入学前の進路確認、保護者懇談会

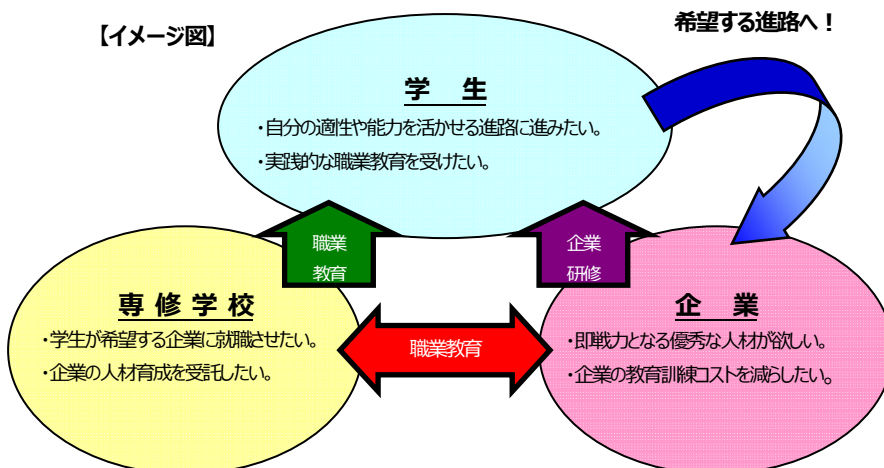
7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.chuoko-osaka.ac.jp/>

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。